



あと一週間足らずで9月を迎えます。

本当に月日の流れは早いですね。

第2学期がはじまってまだ一週間も経っていませんが、こどもたちのモードは運動会一色です！  
このモードを大切にしていきたいです！

■ 運動会の練習に忙しい毎日です。基礎的な練習が続くと、くり返しくり返しになるので、こどもにとっては飽きるし、嫌になり、登園拒否を見せることがあります。

基礎的練習を終えるとリズムに乗って楽しんだり、勝ち負けの結果を味合っ一生懸命さの意味が理解できるようになります。



■ 運動会は屋内体育館で行います。短パン・半袖シャツ・裸足でのびのびと参加します。

その為の練習です。がまんを重ねて！のり越えて！の運動会です。

応援してあげてください♡

練習は屋内ばかりではありません。広い土のグラウンドに出かけます。当然、手足は勿論のこと、帽子とシャツもズボンも汚れてしまいます。

その汚れを気にしないで、こどもたちはがんばります。認めてあげましょう♡

■ 冬帽子の毛糸の申し込み期限がもうすぐです。お願いいたします。

エニクロのフリースジャンパーのこあんないも近い内にあります。お待ちください。

(心の育ちシリーズ)

# つながる命

今年の三月、私は最後のお墓まいりをするために広島へ行きました。なぜ最後なのかというと、もうお墓を守っていく人がいないので、墓じまいをする事になったからです。

お墓の中から骨を取り出すと、亡くなってから、何年を経つのにまっ白でした。とても不思議な感じがしました。

私はおじいちゃんに会ったことがありません。でも「ちゃんと見守ってくれているよ」とお母さんは言います。

おじいちゃんが亡くなって二週間が過ぎた頃、お母さんのお腹の中に私がいることがわかりました。

お母さんは「おじいちゃんの生まれ変わった」と思ったそうです。今まで、とても大切にしてくれていたから、今度は私がこの子を大切に育てようと決めたのだと教えてくださいました。

私はおじいちゃんやお母さんがいなかったら生まれていません。命がつながっていることを改めて感じました。

私も将来、赤ちゃんを生む時がくると思います。さらにつながっていく命を大切にしたいと思います。

古賀 祐風 (小学校5年)

これは 家族のきずなエッセイ・千葉県知事賞受賞作品です。  
月刊誌 ニューモラル より